第１回　調布市クリーンセンター跡地活用事業事業者公募プロポーザル審査委員会
議事要旨

１　日時　令和元年８月２日（金）午後７時～

２　場所　市役所５階　市長公室

３　出席者

【出席委員】

藏田委員，松本委員，福田委員，船木委員，狩集委員，伊藤委員

【事務局】

行政経営部　今井部長，八角次長

行政経営部公共施設マネジメント担当　澤田課長，後藤係長

行政経営部行財政改革課　永井課長，伊藤課長補佐，石戸谷係長

福祉健康部　風間次長

高齢者支援室高齢福祉担当　米倉課長補佐

４　議題

(1)　開会あいさつ

(2)　委員紹介

(3)　審査委員会要領の説明及び委員長の選任

(4)　募集要項(案)，要求水準書(案)及び審査基準書（案）について

(5)　様式集（案）及び各種契約書(案)について

(6)　その他

5　議事

(1)　開会あいさつ	
伊藤副市長あいさつ	
(2)　委員紹介	
委員及び事務局職員紹介	
(3)　審査委員会要領の説明及び委員長の選任	
事務局	・調布市クリーンセンター跡地活用事業事業者公募プロポーザル審査委員会要領の説明 ・審査委員会要領第５第２項に基づき，伊藤委員を委員長に選任し，委員長が藏田委員を副委員長に指名
(4)　募集要項(案)，要求水準書(案)及び審査基準書（案）について	
事務局	・調布市クリーンセンター跡地活用事業事業者公募プロポーザル募集要項（案)，要求水準書（案）及び審査基準書（案）について説明
【質疑応答】	
審査委員	・価格が同額で提出される可能性がある。「全体事業計画の点が高いものとする」等，もう一段階制限をかけても良いのではないか。
事務局	→検討する。
審査委員	・施設の維持管理で，要求水準書では民間事業者が管理することとなっているが，募集要項では，公共施設の保守は市が行うことになっている。明確にして表記する必要がある。
事務局	→記載方法を検討する。
審査委員	・敷地を分断する通路（ふじみ衛生組合用地）を市が買収することについて，説明を加えた方がよい。
事務局	→記載方法を検討する。
審査委員	・プロポーザルでは，採点の考え方を共有するため，各委員が採点した後に，ディスカッションして点数を変えたりするような時間を設けてほしい。
事務局	→整理して対応を検討する。
審査委員	・事業期間が３０年とあるが，必ず事業者から返還を求めるのか。
事務局	→事業契約終了の３年前から事業者と協議することを募集要項にも記載している。近隣住民からの要望等を確認しながら協議していく。
審査委員	・本当は経営的に厳しい会社であっても，書類だけでは分からない部分もある。業務遂行力の点数を他の項目より上げた方がよいと感じた。
審査委員	・サウンディング調査の結果が反映されている部分はあるか。
事務局	→サウンディング調査の結果を受け，事業採算性とリスク等の観点から事業期間を３０年とした。また，高齢者ニーズへの対応として地域で不足しているクリニックについて，設置可能との結果を受けたことから必須項目とした。
審査委員	・市が重視している内容を基準の優先順位を含めてより分かりやすく示してほしい。
事務局	→具体的な表記を検討する。
審査委員	・サウンディング調査結果を教えてほしい。
事務局	→学習塾，フィットネス，ドラッグストア，病院等，各社が様々な検討をしている。

(5)　様式集（案）及び各種契約書(案)について	
事務局	・調布市クリーンセンター跡地活用事業事業者公募プロポーザル様式集（案）及び各種契約書（案）について説明
【質疑応答】	
審査委員 審査委員	・プレゼンテーションで使用できる資料の制限は記載した方が良い。 ・市の求めるものが，的確に提案内容に含まれるよう工夫すること。
(6)　その他	
事務局	・スケジュールの確認及び事務連絡